

公立はこだて未来大学が函館市、函館高専、地元企業らと
アジア最大級の IT・エレクトロニクス総合展、
「シーテックジャパン 2008」(幕張メッセ)に出展



幕張メッセ(千葉県千葉市)で、2008年9月30日(火)から10月4日(土)の5日間にわたって開かれたアジア最大級の IT・エレクトロニクス総合展、「CEATEC JAPAN(シーテック ジャパン)」において、本学がブースを出展し、最先端の研究成果を来場者にプレゼンテーションしました。

本学がシーテックに出展するのは、今回が3回目。初回の2006年は、函館市と本学の共同出展というかたちで、2007年からは函館工業高等専門学校や地元企業らも加わり7団体・企業の共同出展、そして今回2008年はさらに参加企業を増やして、9団体・企業での共同出展となりました。

本学の展示ブースは、函館市の共同出展コーナー、「はこだて IT モール」の一角に設けられました。今回は、「水産物トレーサビリティ・システム」のデモンストレーションや実運用例のビデオ放映に加えて、「海洋ユビキタスセンシング」、「水産資源量調査のための海底画像からのホタテ高精度抽出」、「MIKAN GLOBE: インタラクティブ地球地図」といった研究開発成果を展示。研究開発を担当した教員らが、みずからブースを訪れた方々に内容説明を行いました。



左: 公立はこだて未来大学展示ブース 右: 函館市展示ブース

●キーワード解説:

CEATEC JAPAN 2008

主催: 情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)、社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)、社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)

総出展者数: 804 社・団体 / 登録総来場者数: 196,630 人

はこだて IT モール

函館市では、地域の産学との共同出展ブース「はこだて IT モール」を 2006 年から出展。シーテックへの自治体出展としては先駆ける存在であり、他地域が企業誘致や観光などの展示が多い中で、「IT」をはっきりテーマに打ち出し、地域を挙げて共同出展してきた点で注目を集めている。

●関連リンク

CEATEC JAPAN オフィシャルサイト

<http://www.ceatec.com/>

●紹介記事

CEATEC JAPAN オフィシャルサイト Web マガジン

「自治体の効果的な情報発信・企業誘致・産業振興 PR する / 地域独自の自慢をアピールするはこだて IT モールに注目」

http://www.ceatec.com/2008/ja/webmagazine/detail.html?mag_vol=072&mag_type=Web_D_00

ASCII.jp

「CEATEC JAPAN 2008 レポート 第 8 回 そのまんま CEATEC! やっぱいいた東国原知事 —自治体プラザ / XOOOPS で産学連携 — 函館市」

<http://ascii.jp/elem/000/000/176/176584/index-2.html>



左: CEATEC JAPAN web マガジン、右: ASCII.jp

本件のお問い合わせ先

公立大学法人 公立はこだて未来大学 共同研究センター (和久井、川口)

E メール: center-ml@fun.ac.jp 電話 0138-34-6520(ダイヤルイン)